

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

飯塚拠点連携型拠点地区

令和7年12月
福岡県飯塚市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	まちづくり協議会主催事業への参加者数	人／年	計 1,500 立岩地区 1,000 二瀬地区 500	計 2,280 立岩地区 1,440 二瀬地区 840	計 1,115 立岩地区 585 二瀬地区 530	確定 ● 見込み	△ なし	●	計 2,497 立岩地区 1,727 二瀬地区 770	R5年4月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事後評価の時点では、目標値を大幅に下回り、目標を達成することができなかつたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等の開催や施設利用に制限があったことが原因にあるものと考えられる。フォローアップ時点では目標達成。
指標2	交流センターの利用者数	人／年	計 48,700 立岩地区 39,200 二瀬地区 9,500	計 63,300 立岩地区 49,500 二瀬地区 13,800	計 33,414 立岩地区 29,008 二瀬地区 4,406	確定 ● 見込み	△ なし	●	計 47,004 立岩地区 38,315 二瀬地区 8,689	R5年4月	△	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事後評価の時点では、目標値を大幅に下回り、目標を達成することができなかつたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等の開催や施設利用に制限があったことが原因にあるものと考えられる。フォローアップ時点ではコロナ禍以前程度まで回復している。今後も改善策を継続する。
指標3	住みにくさの改善度	%	平均 14.5 立岩地区 16.9 二瀬地区 12.0	平均 10	平均 18.5	確定 ● 見込み	△ なし	●	平均 10.2 立岩地区 13.2 二瀬地区 7.1	R7年8月	△	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事後評価の時点では、アンケート内容が従前値計測時から変化していたこともあり、状況が改善されていない結果となっていた。今年度、従前値計測時と同様の内容でアンケート調査を行ったところ、ほぼ目標値まで減少している。今後も改善策を継続する。
指標4						確定 見込み				R 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み				R 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1				確定 見込み					R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2				確定 見込み					R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3				確定 見込み					R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	交流センター事業の活性化	各地区のまちづくり協議会の事業活動について支援を行った。	指標1のとおり、目標を上回る参加者数となっている。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心拠点機能の回復、市内各拠点地域との連携	本市の中心拠点であるJR飯塚駅周辺において、中心拠点機能を回復するため、飯塚駅周辺地区において都市構造再編集中支援事業を実施している。	地区内に駅がある立岩地区については、近年人口増となっている。	中心拠点の開発を図る事業完了後は、市内各拠点地域との連携を促進していく必要がある。
	交流センター指定管理制度の導入	交流センターの指定管理制度の導入やまちづくり協議会の法人化に向けた説明やその取組に向けた支援を実施した。	二瀬地区のまちづくり協議会については、令和7年7月に法人化し、令和8年4月1日から交流センターに指定管理者制度を導入することとなった。	二瀬地区のまちづくり協議会による交流センターの指定管理をロールモデルとして、立岩地区についても協議会を支援していく必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項